



エスエムエス

渡部 聖人氏

「社員の皆さんを幸せにできるように人生をかけて頑張る」。本年3月に

新社長登場

New President

産廃処理ソフトで貢献

産業廃棄物処理業務パッケージソフトの製作や販売を手掛ける最大手、エスエムエス（本社〓和歌山市）の2代目社長に就任した。33歳と若く課長から社長への抜てきで分からないことだらけと嘆くが、「日々勉強」を励む。1996年にインター

歌山県の産廃業者から依頼を受けシステムを製作したことがきっかけで、98年に産廃マニフェスト管理システムの第1弾「産廃イチロー」を市場投入した。和歌山に本社を置くほか、北海道、宮城、東京、愛知の4支店と神奈川営業所を配置す

最新のバージョン15を発売。導入実績は北海道から九州まで3112社（本年10月時点）による。今後は排出事業者向けにマニフェストの入力代行業務を始める予定。産廃イチローのオプションソフトとしてSMS-A SP（電子マニフェスト

ネットのドメイン取得代行などを目的に創業。和

る。従業員は26人。不法投棄など環境問題の高まりを受

対応システム）を展開しており、これを排出事業者向けに販売する。また、金属リサイクル分野向けにリアルタイムでコンテナを管理する産廃コンテナbeeを拡販する。QRコードをコンテナに貼ることで設置場所や回収希望日時を把握でき、タイムリーな在庫管理を実現する。

の高まりを受け、00年に循環型社会形成推進基本法が成立し、各種リサイクル法が施行されたことが追い風になった。産廃ソフトシリーズは本年2月に

創業で先代の辻雅敏前社長から顧客や販売店との大切な縁を引き継ぎ、皆さまの声を大事にしながら、ソフトとともに自身の成長を図りたいと話す。若さを強みにスピード感や柔軟さを持って「お客さまから喜んでいただけるサービスを追求する」（深田 政之

▽渡部聖人（わたべ・せいじ）氏〓12年大阪文化服装学院卒、アバハウスインターナショナル入社。15年エスエムエス入社、20年係長、21年課長、25年3月現職。廃棄物管理士の資格を持つ。信条は「すべての物事には意味がある」。家族は父と母、姉が1人。趣味はスノーボード、テニス、ゴルフ。92年1月14日生まれ、和歌山県出身。

日刊産業新聞 25.10.17

産業新聞

<https://www.japanmetal.com/>